

山陽小野田市 新病院基本計画

概要版

⑤新病院建設準備室（山陽小野田市民病院内 ☎ 83-2355）

山陽小野田市民病院では、平成27年4月の全面オープンに向けて、昨年11月に基本計画を策定しましたので、その概要をお知らせします。なお、基本計画本編は、市ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

基本方針

基本計画：1-1 新病院の基本方針より

新病院では、良質な医療を、安全に・あたたかく提供する地域の中核病院として次のとおり基本方針を掲げます。

- ①医療内容の進展に柔軟に適合できる総合病院とします。
- ②公益性に配慮し、保健・医療・福祉の連携の要として地域医療の総合的な向上に寄与します。
- ③当面は人工透析と周産期医療などを主体に強化を行いますが、時期や状況を見据え、将来は4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）の強化に取り組みます。
- ④医療従事者の研修・教育に積極的に取り組み、同時に住民参加により共に発展する仕組みを構築します。
- ⑤公益性を重視しながらも、合理的・効率的な健全経営を展開します。

新病院の基本的考え方

基本計画：1-2 新病院の基本的考え方より

①地域に開かれた公立総合病院の整備

- ・広く地域住民に門戸を開くとともに、急性期・療養期の中間的な機能を担う、地域の中核病院としての体制を維持していきます。

②良質な地域医療環境の整備

- ・保健・医療・福祉の緊密な連携・協働を図り、地域医療連携室・医療相談室を整備・充実し、地域住民の安心の拠点とします。
- ・健診室の機能強化、保健分野との連携により、健康指導の促進・充実、健診の充実を図ります。
- ・一般病院として急性期から慢性期までを対象とし、亜急性期病床を導入します。

③アメニティの充実

- ・利用者に心地よい療養環境を提供します。

④急性期から納得期まで

- ・入院から退院までを「急性期から納得期まで」と

位置づけ、退院時期は、政策的に許容される範囲内で、患者・家族と医療従事者が十分に話し合っ、病状とともに家庭環境、支援者の有無を考慮して決定します。

⑤医療資源の有効活用

- ・山口大学医学部附属病院の補完的教育研修機能を整備します。
- ・医師会員によるセミ・オープンシステムを取り入れ、他の医療機関との連携による診療体制の構築を図ります。

⑥健全な経営と適正な運営

- ・本来の目的である公共性を重視しながら、合理的・効率的な健全経営を行います。
- ・患者や家族の視点に立ち、納得のできるあたたかいコミュニケーションの定着を促します。
- ・高い志と倫理観・使命感をもって適正なコンプライアンス（法律遵守）の保持に努めます。